

3月16日 いまみや朝会



3週間前にはなりますが、ミラノ・コルティナオリンピックをおぼえていますか？感動のシーンが沢山ありましたね？どのシーンが一番印象に残っていますか？友達や先生に教えてください。

メダリスト達の名言を見ていきましょう！



鍵山選手（アイススケート・銀メダル）

「どんな結果でも、今日まで積み上げてきた自分を裏切ることはない。最高の自分を信じ切れました」



坂本選手（アイススケート・銀メダル）

「完璧じゃなくてもいい。自分らしく滑れたことが一番の誇り。」

村瀬選手（スノーボード・金メダル）

「転んでも、悔しくても、『やっぱりスノボが好きだ』って言える自分を一番大切にしたい」



三浦 & 木原（りくりゅう） ペアダンス・金メダル

三浦選手

「弱い自分も、強い自分も、全部りゅうくんと一緒に受け止めてきた。それが私の力になった。」

木原選手

「自分を信じるのは難しい。でも璃来が信じてくれた自分を、僕も信じられるようになった。」

メダリストの言葉を聞いて、何か共通する思いが見えてきませんか？

それは、ありのままの自分を信じる、自分を大切にしているということです。

これを、むづかしい言葉で自己肯定感（じここうていかん）といい、いまみや小中一貫校ではとても大切にしていることです。



自分にはよいところがありますか？聞かれて、ハイ！と答えることができるということなのです。

残念ながら、日本の若者はこの自己肯定感が世界の中でも特に低い国です。

だからこそ、いまみやのみんなには自己肯定感を伸ばしてほしいのです。自分を好きに、大切に、信じる人間になってほしいのです。

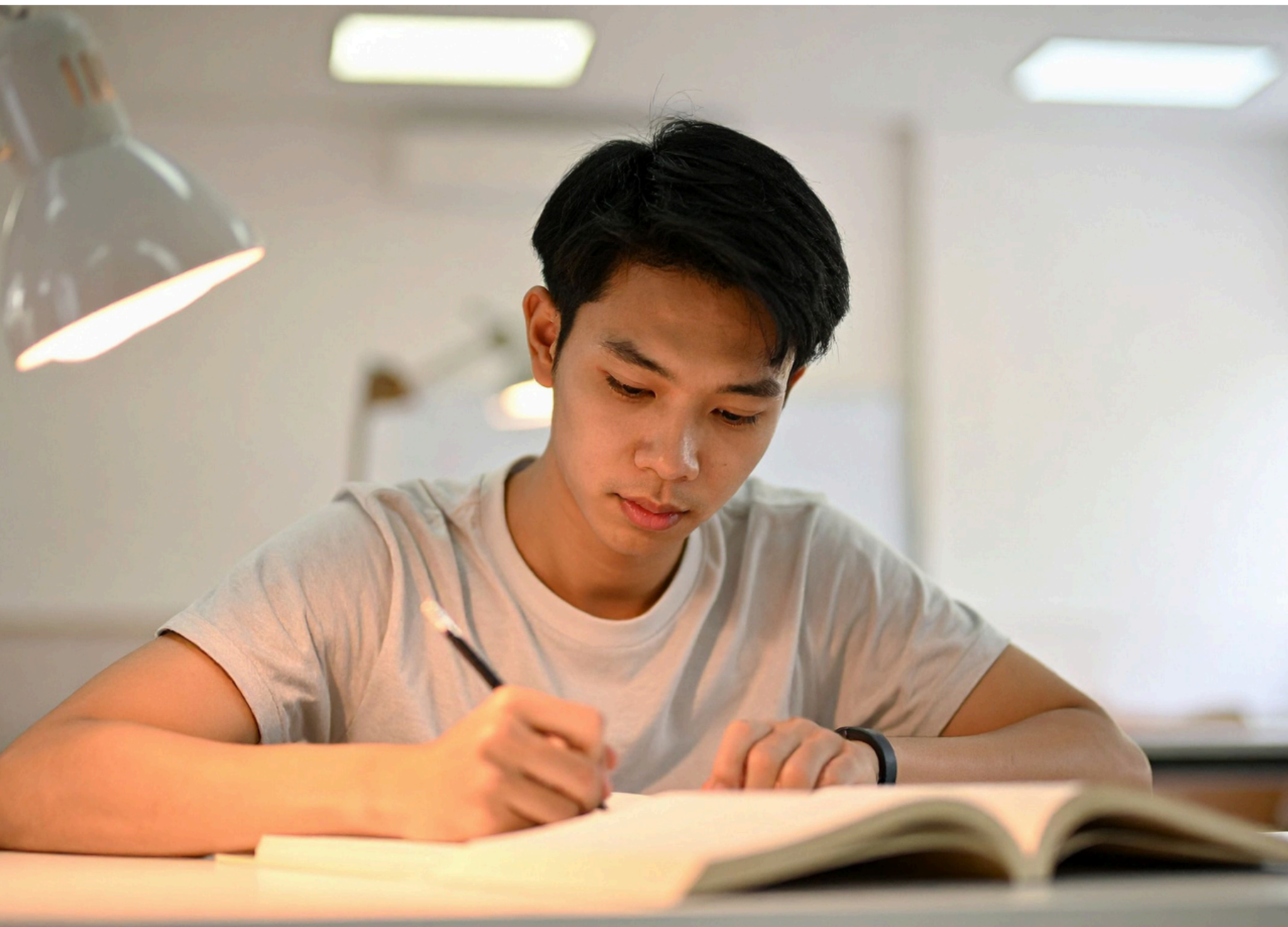
この4年間の自己肯定感の推移（自分にはよいところがあるという質問にハイ！と答えた人の割合）

校種	R4	R5	R6	R7
小学校	87.00%	88.20%	81.60%	85.10%
中学校	77.00%	88.40%	83.30%	88.60%

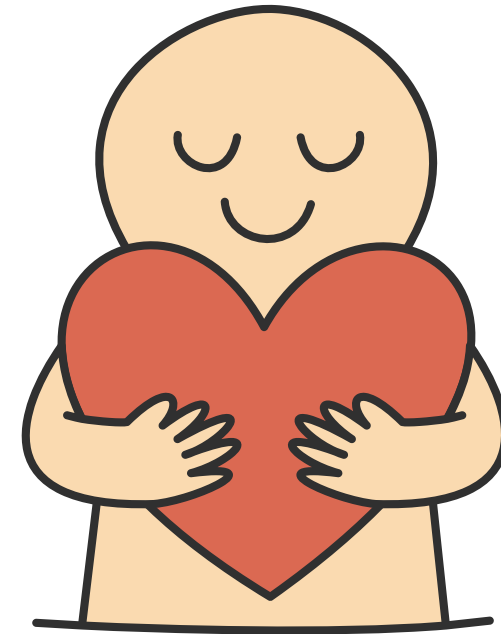
この4年間でいまみやのみんなの自己肯定感はどんどん上がってます。でももっと伸ばしてほしい！

自己肯定感を伸ばす 2 つの方法

①勉強や運動を頑張って、点数や記録を伸ばす！（自分が頑張る）



②まわりの人から「ありがとう」・「すごい」
「やさしい」など、認めてもらう



これからも、学校中に「ありがとう」などのやさしい言葉があふれる、いまみや小中一貫校にしていきましょう！